

昭和ネオン高村看板ミュージアムは、古くは江戸時代からの「看板」をテーマに展示公開されるミュージアムで、同社が約20年にわたり収集してきた400点あまりの古看板の中から、厳選した180点の「看板」が公開されている。これらは1983年、初めて米国において開催された、日本の店頭看板展に出品されたもので、同年3月ニューヨーク市ジャパンハウス・ギャラリーでの開催をかわきりに、米国の著名な美術館を1年間余り巡回展示され1984年ホノルルを最終会場に終了した。美術品としての価値はもとより、日本の生活文化、サイン・広告文化の発信拠点としてたいへん興味深い施設であることが評価された。



この度のSDA特別賞の受賞誠に有難うございます。また関係各位に深く感謝申し上げます。当ミュージアムは「屋外広告のルーツ」として、また広く一般の方々に歴史を通じて「看板・サイン」というものをもっと身近に感じ取って貰えればという思いを先代社長(故)高村五郎より引き継いで、私ども(株)昭和ネオンが会社設立55周年にあたる今年、旧東海道の立地を生かしながらお蔭様で開館するに至りました。展示品の看板の1つ1つがその時代の背景をあらわし、当時の商店の店構えすらイメージさせるデザイン性の高さは現在においても引けを取らず、改めて「看板職人の粋」を感じさせずにはおきません。これら看板を通して当時の日本人の考え方、生き方にひと時思いを馳せて頂ければ幸いです。皆様お近くにお越しの折には是非一度お立ち寄り下さいます様、皆様のご来館を心よりお待ちしております。